



子育て支援センター

遊びに
おいでよ



茨城町子育て支援センターは子育て親子に寄り添い、親子のふれあいと絆を深める活動をおこなっています。

まんまる一むのご案内 要予約

対象 茨城町に住民票のある未就学児と保護者

開放時間 午前及び午後の2部制
*土曜日の開放は当面行いません。
平日【午前】9時30分～11時30分 (各5組程度)
【午後】1時30分～3時30分

予約受付 月曜日～金曜日の午前9時～午後4時
(当日予約も承ります)
*希望日の前週の月曜日より、電話または子育て支援センターの窓口で受け付けます(定員になり次第締め切り)。

- その他**
- ・予約できる方は利用する保護者のみです。
 - ・兄弟であっても小学生の利用はご遠慮ください。
 - ・詳細は受付の際にお伝えします。

読み聞かせ
日時 1月17日(水) 午前11時～11時15分
子育てボランティアが絵本や紙芝居の読み聞かせに来てくれます。親子でゆったりとお話の世界を楽しみましょう。

ボランティアによるピアノ演奏
日時 1月19日(金) 午前11時～11時15分
毎月一回、ボランティアのサニーNAOKOさんによる演奏があります。お子さんと一緒に心地良い音色で癒やされましょう。

まんまるたいむ
時間 午前11時～11時15分
「わくわくおはなし」「ふれあいあそび」「リズムであそぼう」「わくわく製作」などを日替わりで行います。



〈まんまるたいむの様子〉

子育てセミナー

「集いの場。TU☆NA☆GU」

子育て中の仲間とおしゃべりする場です。参加者や職員と気軽にしゃべりをしましょう。子育てに関するアイデアやあそび場の情報など、参加者と共有しませんか。

対象 茨城町に住民票のある0歳から3歳の子どもと保護者

日時 1月24日(水) 午前10時～11時

場所 まんまる一む (定員5組)

予約受付 1月10日(水)～23日(火)
午前9時～午後4時 ※土・日を除く。
電話または子育て支援センター窓口で受け付けます(定員になり次第締め切り)。

要予約

子育て相談 ご利用ください

対象 未就学児をもつ保護者
場所 子育て相談室
受付時間 月～金 午前9時～午後5時
(※祝日を除く)
1月6日(第1土曜日)
午前9時～午後4時30分

子育てに関する悩みや不安、誰かに話を聞いてもらいたいことなど、さまざまな相談に保育士が対応します。相談の間、保育士にお子さんを預けることができます(月～金)。電話での相談も受け付けていますので、どうぞお気軽にご連絡ください。

感染症対策に関してのお願い

- ・咳、鼻水や発熱などの症状がある場合は、まんまる一むの利用をご遠慮ください。
- ・感染症予防のため、しばらくの間は定員を設けて実施しています。皆様のご理解とご協力をお願いします。

*状況により、予定を変更する場合がありますので、ホームページなどでご確認ください。

—— 未就学児とその保護者が対象となります。詳細は、お問い合わせください。——

【予約・問合せ先】 こども課 子育て支援センター ☎029-291-0980 (直通)
茨城町総合福祉センター「ゆうゆう館」内



みんなでキャレーン♪ 農業体験

町内の各小・中学校では、地域の農家の方や茨城県立農業大学の先生方の指導のもと、農作物を育て収穫する農業体験を行っています。今回は12月号に引き続き、貴重な体験をした児童や生徒たちの感想をご紹介します。

【問合せ先】 学校教育課 ☎029-240-7121 (直通)

米づくりは大変だ！

葵小学校 五年

弓野心那



米には農家の方々の苦労が詰まっています。感じました。これからは、農家の方々に感謝しながら米を食べていきたいと思えます。

私は、学校の田んぼで米作り体験を行いました。まず、代かきを行いました。どろどろの土の中に入り、足で土を踏んで耕しました。転びそうで怖くなりました。次に、地域の奥谷さんに教わりながら田植えや稲刈り、脱穀を行いました。田植えでは、稲を真つすぐ植えるのに苦労しました。稲刈りでは、鎌でまとめてかり取り、干す作業が大変でした。脱穀は、脱穀機を使って行ったのですが、一つの稲束からとれるもみは意外に少ななくて驚きました。米作り体験を通して、



農業体験学習を経て

明光中学校 一年

吉田千鶴



私たちは、茨城県立農業大学にてさつまいも掘りの農業体験学習を行いました。私が体験をしていて、特に印象に残ったことは、さつまいもがとても大きかったことです。いも掘りしていると、友達や赤ちゃんほどの大きさのいもも掘り出していたので、とても驚きました。また、学生の方々の説明を聞いて、驚いたことがあります。県立農業大学では、環境に配慮した農業用ビニール袋の研究がされており、そのビニールは使用後、自然に分解されるそうです。環境に優しく、農家の方々の手間も少なくなるように、これからも研究をがんばってほしいです。



最後に、県立農業大学の先生や学生の方々、たくさん準備をしてくださり、私たちにこのような貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。

農業体験で学んだこと

青葉中学校 一年

長谷川実優



私は農業体験で苗植え、草取り、水やり、収穫と様々な経験をしました。草取りをした日は、夏真っ只中だったので、とても暑かったです。みんなとても真剣に取り組んでいました。雑草を抜く人、抜いた雑草を集める人、運ぶ人の分担を自主的に決め、効率よく進むように工夫しました。「小さな畑でも手入れはこんなに大変なのに、農家の方はすごいな。」と思いました。収穫の日、蔦や葉を見て、どれくらい収穫できるのかとワクワクしながら、マルチを剥がしました。自分たちで手入れをしていたので、土が少し固く、少し掘りづらかったですが、立派な芋がとれました。

他にもたくさんのお仕事があり、毎日仕事をしている農家のご苦労を実感しました。自分たちで育てた物を収穫した気持ちをお大切にしていきたいと思えます。